

# 社会福祉施設での こども食堂の現状

---

2025.11.21

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ  
調査研究領域／近畿ブロック担当ディレクター 北川淳也



## こども食堂とは

子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。

- 「地域食堂」「みんなの家」など、こども食堂という名前以外で運営されているところも数多くあります。
- こども食堂は民間発の自主的・自発的な取り組みです。
- そのため運営を支援する公的な制度などは整っていないのですが、それでも、こども食堂の数は増え続けています。



大人もこどもも合わせた  
年間延べ利用者数(推計)

**1,885**万人

- どなたでもどうぞ **71.7%**
- 高齢者の参加がある **53.1%**

## 本日の報告 ～こども食堂の現状について～

### 1) こども食堂の概況

こども食堂全国箇所数調査  
こども食堂の現状 & 困りごと  
アンケート調査

### 2) 福祉施設での こども食堂の状況

社会福祉施設での  
こども食堂・多世代交流の  
取り組み実態調査

### 3) こども食堂の 参加者の状況

こども食堂の参加者・非参加者調査  
こども食堂での変化についての  
エピソード分析 など

# 1) こども食堂の概況：箇所数の状況

2024年度  
確定値

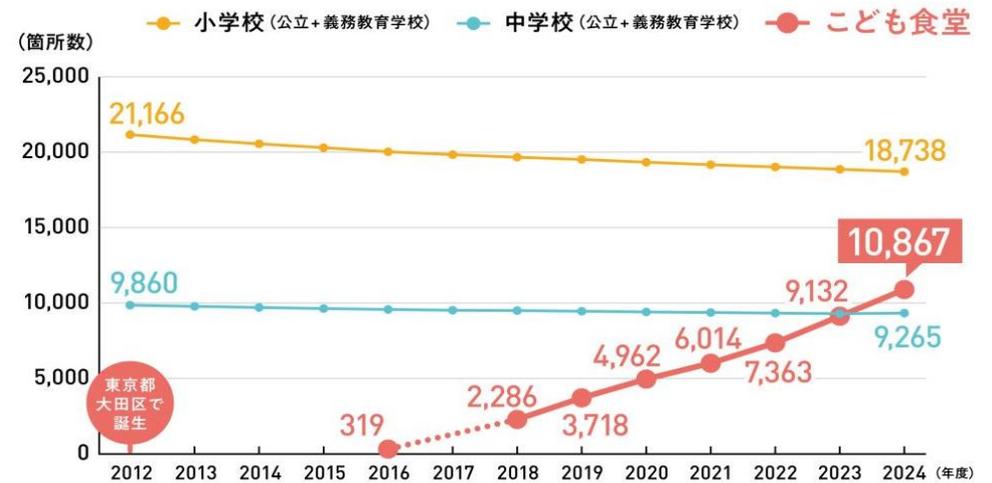
こども食堂数が日本で初めて10,000箇所を超え、  
公立中学校数を上回る「**10,867** 箇所」

### こども食堂の箇所数の推移



2018年度以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

### こども食堂の箇所数と、全国の小学校／中学校数の推移



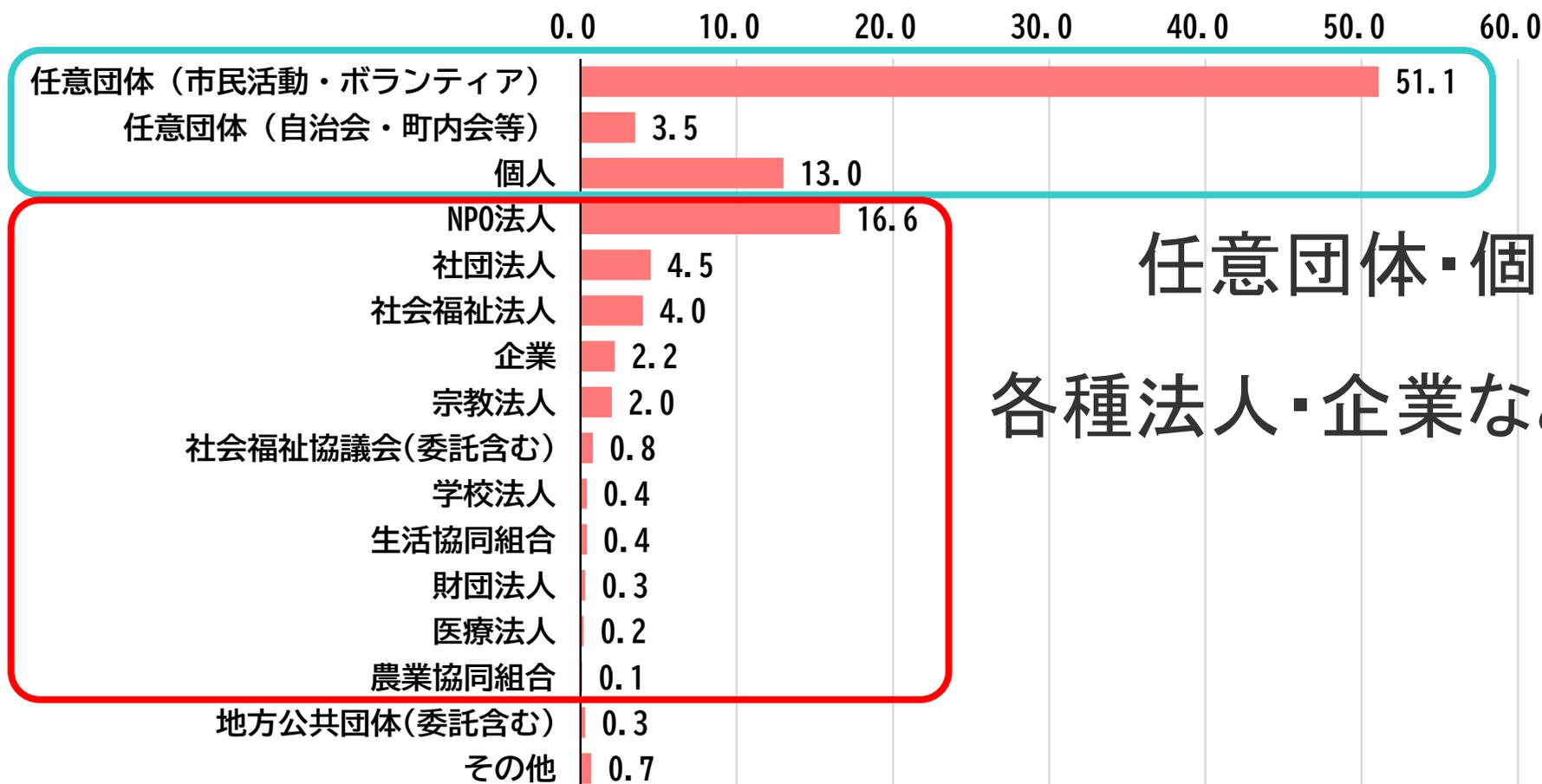
2018年度以降は認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ、および地域ネットワーク団体調べ、2016年は朝日新聞調べ

1か所1か所の  
積み重ねが **地域のインフラに！**

# 1) こども食堂の概況：運営主体

運営主体は任意団体・個人67.6%、各種法人・企業など31.5%

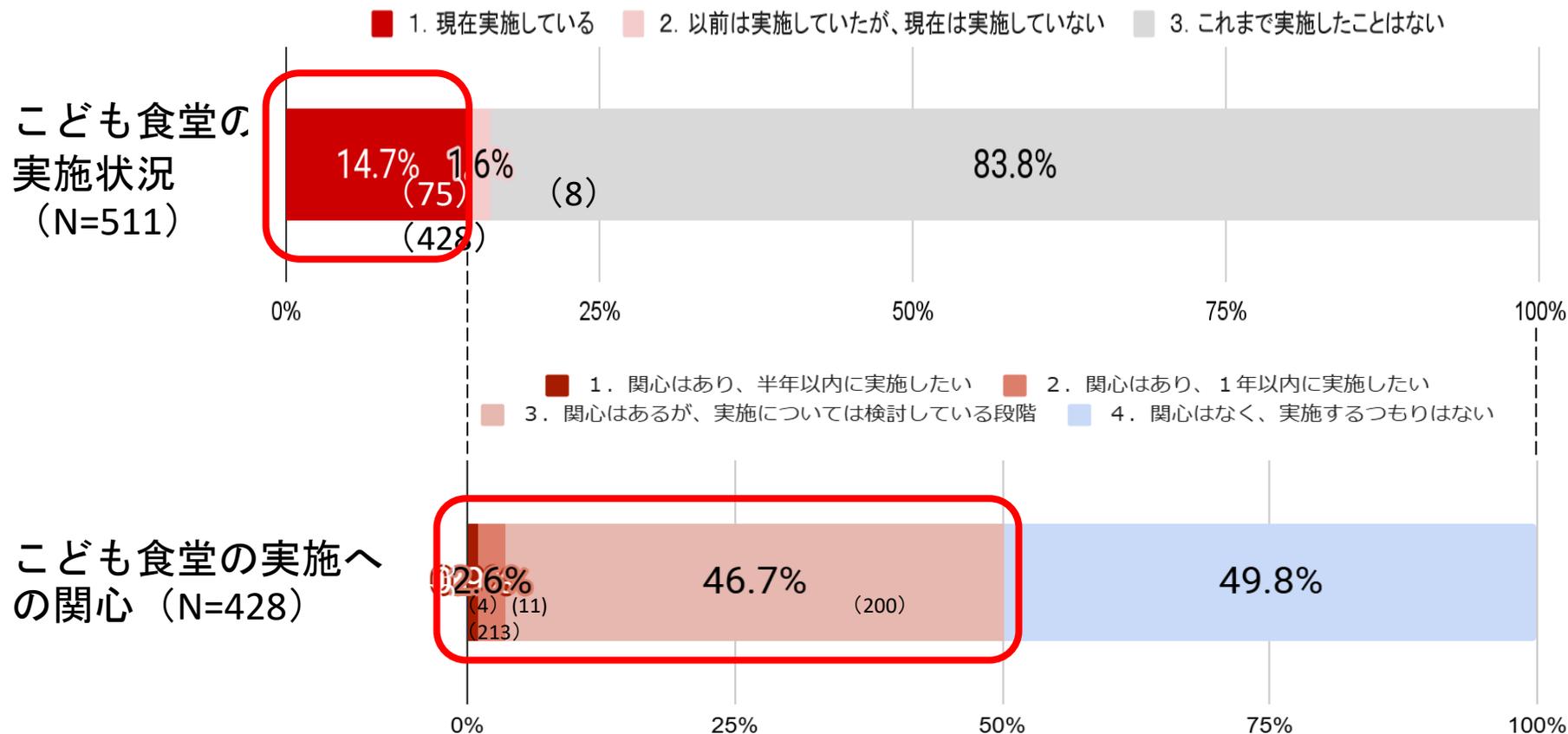
運営主体について回答数:n=1,307件 単位:%



任意団体・個人  
各種法人・企業など

## 2) 福祉施設でのこども食堂の実施状況と関心

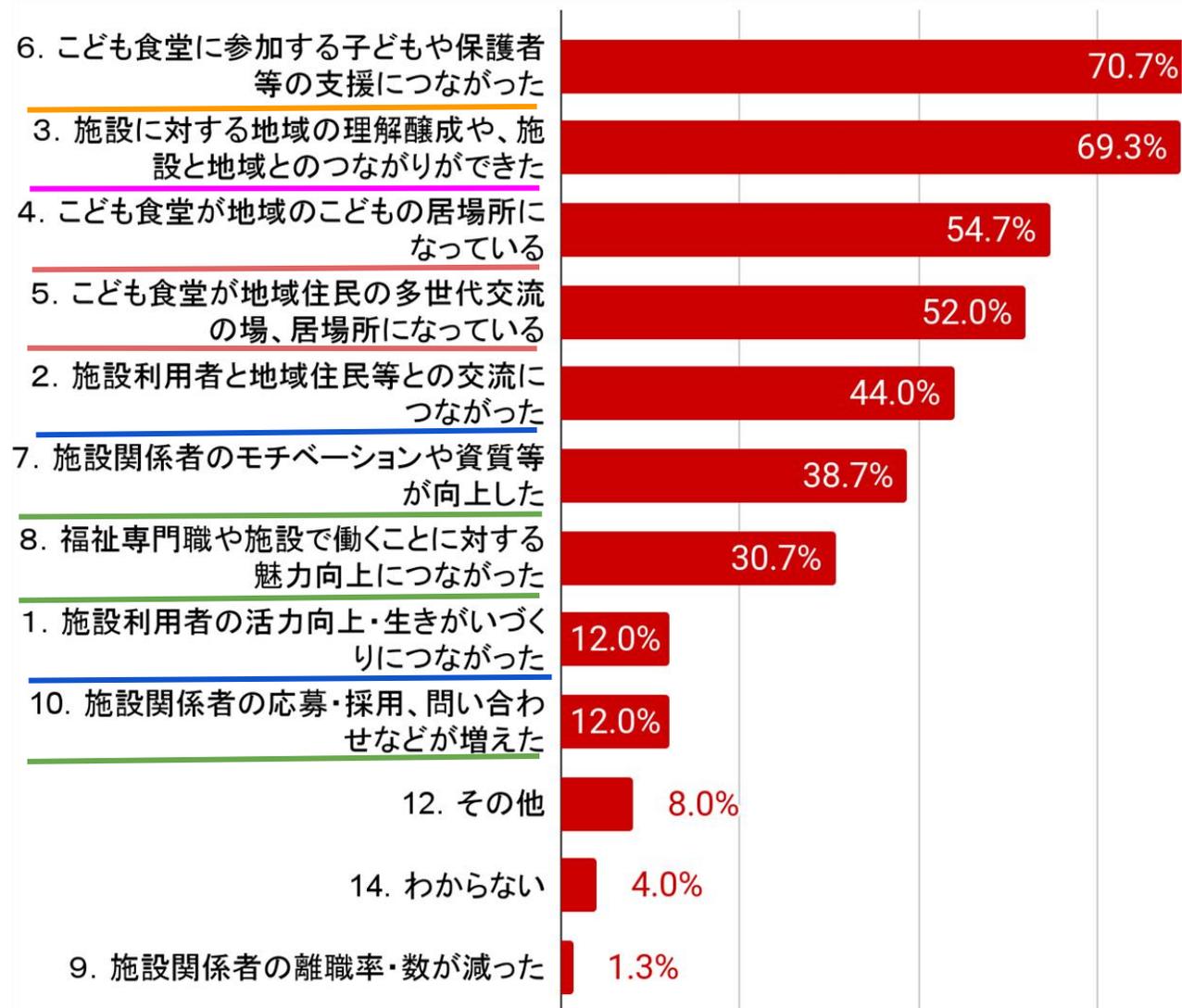
実施している施設は**14.7%**、未実施の施設のうち施設は**50.2%**



## 2) 福祉施設がこども食堂を実施する目的



## 2) 福祉施設がこども食堂を実施した成果



参加者の支援  
地域とのつながり  
居場所/多世代交流  
施設利用者  
施設関係者

## 2) 福祉施設がこども食堂を実施した成果（インタビューから）

### 地域と施設のつながり 居場所／多世代交流

- 子どもたちが、子どもの頃から障がい者施設になじめることで障がい者理解につながる(施設D)
- 敷居が高いという高齢者施設のイメージを変え、高齢者と地域の皆さんとが交流できる良い機会(施設H)
- こども食堂を通じて地域の人たちが施設に入りやすくなった。お祭りをやっても、地域の人たちや小さな子どもがたくさん来てくれるようになった(施設B)
- 学校帰りに子どもがふらっと立ち寄れる場所にしたい。災害時にも人が集まってくる場所になるとよい(施設E)

### 施設利用者

- 高齢者の方たちはこどもを見ると良い表情をする。地域の人たちが施設に来てくれることでいろいろな人と関わる事が出来る。(施設H)
- 支援される側でいることの多い障がいのある利用者が、こども食堂のボランティアとして参加し、支援する側にもなれている(施設C)

### 施設関係者(採用)

- こども食堂をやっていることで、職員確保や新卒者の採用に効果が出ている。専門学校・大学の実習依頼が増えて、実習後に採用になった例もある(施設D)
- 採用応募者が、高齢者ケアに加えて、世代間交流や地域貢献できるところに魅力を感じてくれている(施設B)



## 2) こども食堂の実施による施設関係者の変化

### こども食堂を実施することでの施設関係者への変化 回答数:n=75

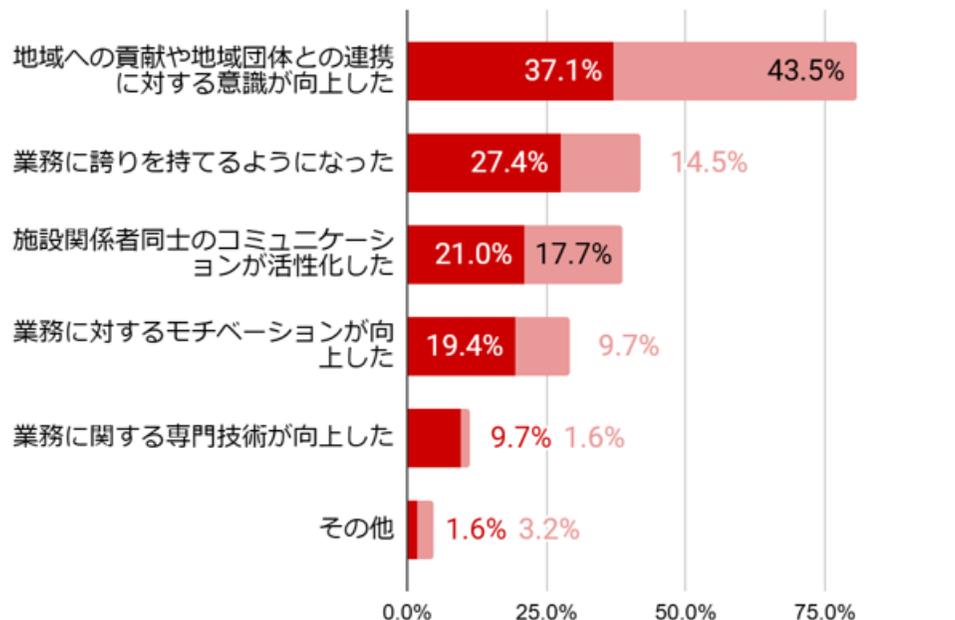
■ プラス ■ どちらかといえばプラス ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばマイナス ■ マイナス



施設関係者にプラスの効果を生んでいる施設は **8割**

### 施設関係者のプラスの変化の内容 回答数:n=67

■ プラスに変化した ■ どちらかといえばプラスに変化した



### 施設関係者(インタビューから)

- 地域活動に取り組むことで、職員が施設の外の課題にも目を向けられるようになり、資質向上に役立っている(施設G)
- 普段関わらない世代と関わることで元気や刺激をもらえ、地域に貢献できている実感が持てる(施設B)
- こども食堂の運営により、企画力、調整力、広域的な取組みの経験を積むことなどができている(施設D)



## 2) こども食堂の実施を他施設に勧めるか

■ 勧めたい ■ どちらかといえば勧めたい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえばすめたくない ■ 勧めたくない



実施施設の

**7割**がお勧め！

「どちらともいえない」の理由は、「各施設の状況によるので」という回答が中心

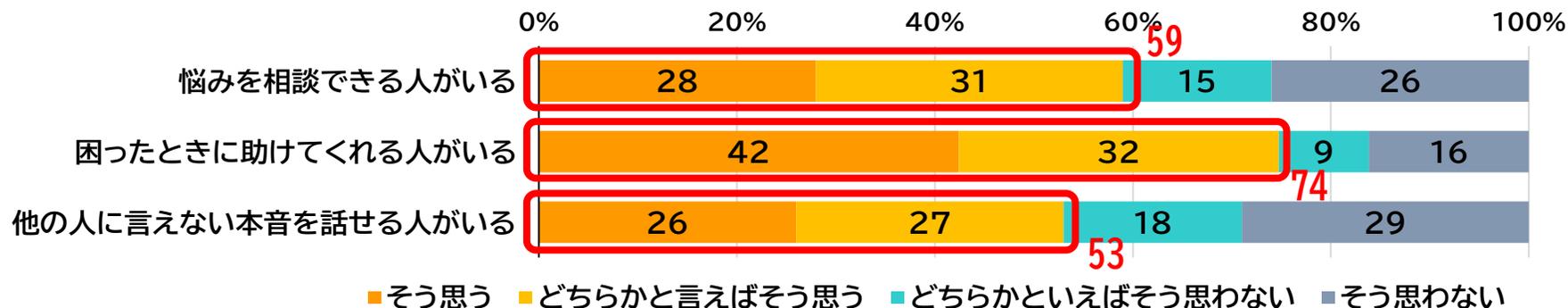
- 社会福祉施設はこども食堂の「居場所の力」を創り出すための、設備、人材、ネットワークを有しているから。そして、こども食堂を実施することで、コミュニティの中での社会福祉法人と地域の様々な資源と繋がり、ネットワークが必ずできるから。(介護・高齢者施設)
- 多くの社会福祉法人で行うことで、利用者が増え、地域課題にも多く目を向けることができる。その分、救える人も増えるのではと思います。また専門職としての資質向上に繋がる。(介護・高齢者施設)
- 虐待や仕事のつらさ、人手不足など、とかく暗い話題がつきまとうが、子ども食堂の取組は自由な発想のもとにワクワクする企画ができ、地域の方々にも受け入れられやすい。社会福祉法人が自らの手で地域に明るさをもたらすことができる取り組みとして効果的と感じるから。(介護・高齢者施設)
- 地域の居場所の数が足りない。一つ一つの団体の負担軽減、居場所を必要とする人たちの選択肢(必要とする居場所を選べる)などの理由で、全国に約2万法人が「1法人1居場所」ができれば、地域に多くの居場所ができる(障がい者施設)

### 3) こども食堂の参加者の状況 (こども食堂への参加者の変化を捉える定量調査より)

## こども食堂で出会った人たちとの関係性は深い

こども食堂で出会った人 (友だちや大人など) について、つぎのような人はいますか？

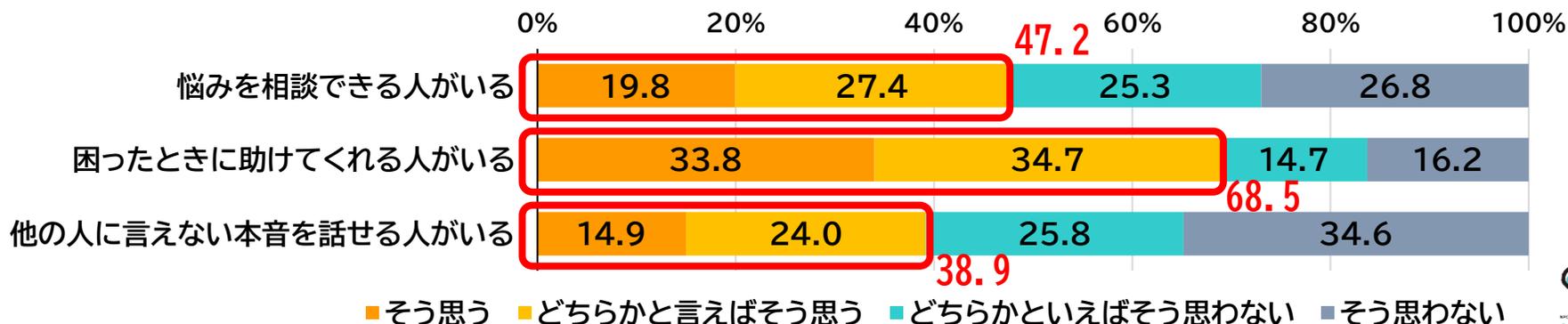
(参加している子ども回答)【こども食堂への参加者の変化を捉える定量調査(第2回調査結果)】



### 参考

地域の人 (近所の人、塾や習い事での友だちなど) とあなたのかかわりは、どのようなものですか？

(全国の10歳～14歳1,520人該当)【内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査(令和4年度)」】

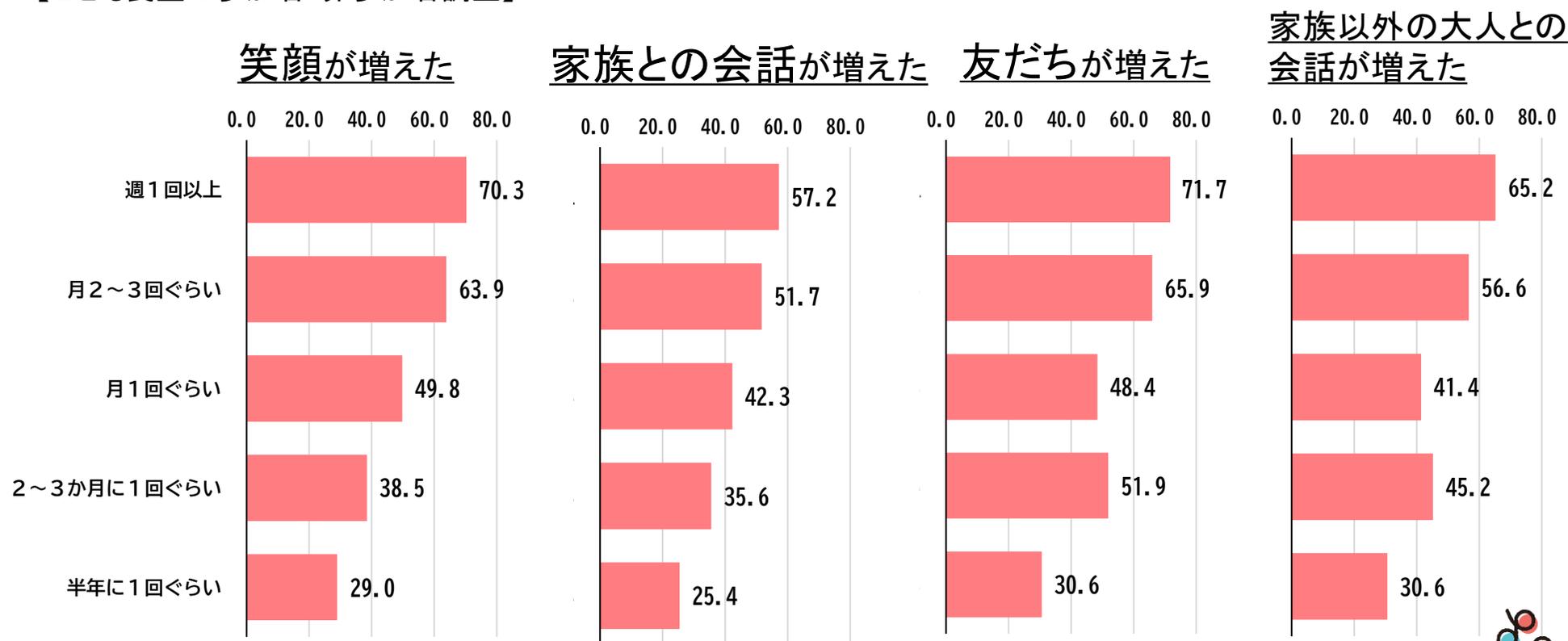


### 3) こども食堂の参加者の状況 (こども食堂の参加者・非参加者調査より)

こども食堂への参加頻度が高いほど、  
笑顔、家族や大人との会話、友だちなどが増える傾向

こども食堂に通い始めての変化(こども食堂に参加しているこども(n=1,000))

【こども食堂の参加者・非参加者調査】



### 3) こども食堂の参加者の状況 (エピソード公開ワークショップのまとめより)

## こども食堂でのエピソード

コロナ禍で不登校になった小学4年生の女の子をこども食堂のボランティアに誘って見たら、本人もやる気に。何度か参加するうちに、運営する大人や他の子どもたちとの交流が楽しめるようになり、再び学校に通うことができるようになった。

3歳の子どもと一緒に参加してくれたお母さんは、ひとり親家庭で表情も暗かったので、来てくれる度に声を掛け続けたところ、少しずつ表情に変化が生まれ、「今は支援を受けているが、いつかは支援する側に回りたい。」という言葉伝えてくれた。

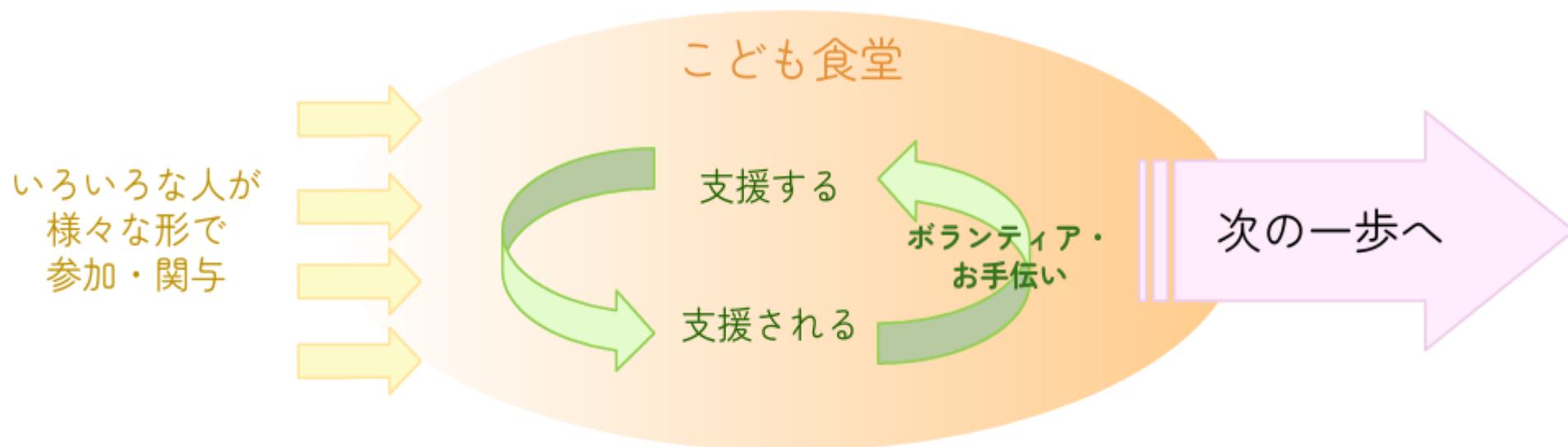
ひきこもりがちの単身で暮らすお料理好きの70代の高齢者。こども食堂を手伝ってほしいと誘われて参加。毎回のこども食堂が楽しみになり、健康を意識して、毎日30分散歩するように。



### 3) こども食堂の参加者の状況 (エピソード公開ワークショップのまとめより)

## こども食堂で起こっている変化とは？

- こども食堂は、子どもだけでなく、大人も含めた地域住民の居場所・つながりの場として機能している
- こども食堂には支援する／支援されるが固定していない関係性があり、誰もが主体的に行動できる環境がある
- こども食堂でのつながりを通じて、次の一歩につながる変化も生じている





# 子どもを中心とした 多世代交流の 地域の居場所

# まとめ

## 子ども食堂の概況

## 福祉施設での 子ども食堂の状況

✓ こども食堂の数は1万箇所を超え、**地域のインフラ**となりつつある。

---

✓ 福祉施設でのこども食堂の効果

- ◇ **参加者を必要な支援につなげられる**
- ◇ **地域の居場所**となって、**多世代交流**を生む
- ◇ 地域において施設の理解が進み、**地域と施設のつながりが強化**される
- ◇ **施設利用者**の地域住民との交流や生きがいにつながる
- ◇ **施設関係者(職員)**のモチベーション・資質向上や、福祉職の魅力・やりがいの向上
- ◇ **職員の採用・応募**に好影響が出ている事例もみられる

# まとめ

## 参加者の状況

- ✓ こども食堂への参加は、子どもたちの**社会性の向上**につながる。
- ✓ こども食堂でのつながりを通じて、関わった一人ひとりの**次の一歩につながる変化**も生まれる。



## 調査などの詳細は以下のURLからご確認ください

- こども食堂全国箇所数調査(2024年度)  
<https://musubie.org/news/press/11208>
- こども食堂の現状&困りごとアンケート調査(2024年度)  
<https://musubie.org/news/grant/10211>
- 社会福祉施設におけるこども食堂・多世代交流の取り組み実態調査(2024年度)  
<https://musubie.org/news/uncategorized/11253>
- 社会福祉施設でのこども食堂一連携が生み出す可能性【事例紹介】  
<https://musubie.org/pickupproject/26622>
- こども食堂への参加者の変化を捉える定量調査(2024年度)  
<https://musubie.org/news/press/11932>
- こども食堂の参加者・非参加者調査(2024年度)  
<https://musubie.org/news/activity-report/11544>
- こども食堂での変化についてのエピソード分析  
<https://musubie.org/news/press/11937>